

2019 年 7 月 1 日
日本銀行新潟支店

新潟県の金融経済動向

【基調判断】

県内景気は、輸出・生産に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。

輸出は弱めの動きとなっている。設備投資は増加している。個人消費は緩やかに回復している。公共投資は持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。

生産は弱めの動きとなっている。企業収益は頭打ち感がみられる。企業の業況感は悪化した。この間、雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに増加している。

【前回からの変更項目】

	今回 (7月1日公表)	前回 (6月4日公表)
全 体	輸出・生産に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。	輸出・生産の一部に弱さがみられるものの、内需は堅調を維持しており、回復を続けている。
輸 出	弱めの動きとなっている。	高めの水準で推移しているものの、一部に弱さがみられる。
生 産	弱めの動きとなっている。	高めの水準で推移しているものの、一部に弱さがみられる。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

951-8622 新潟市中央区寄居町 344 番地

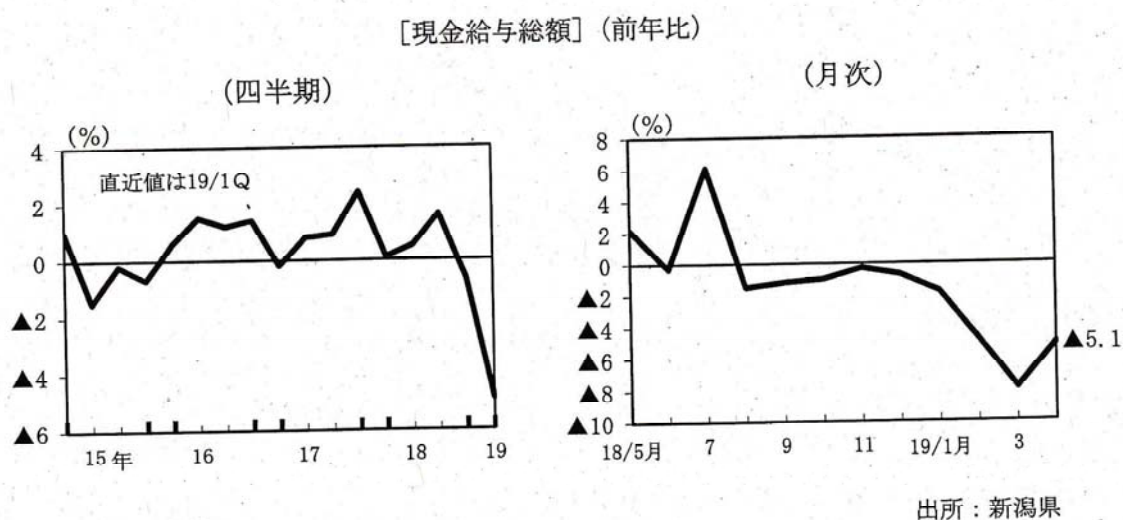
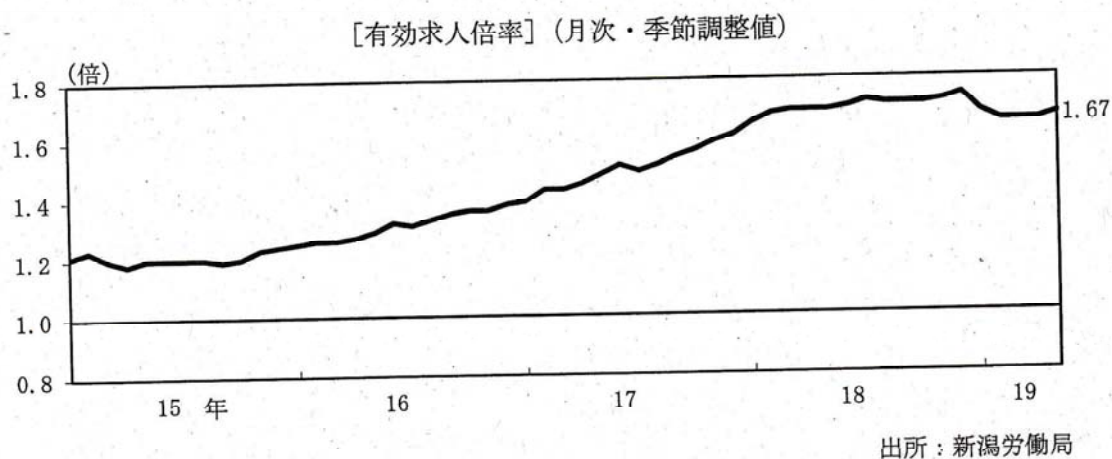
TEL : 025-222-3103 FAX : 025-227-1136

ホームページアドレス : <http://www3.boj.or.jp/niigata/>

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに増加している。

2019年5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月を上回った。求人数は前月から増加し、求職者数は前月並みとなった。

この間、2019年4月の現金給与総額は、前年を下回った。



企業の業況感は悪化した。

2019年6月短観の業況判断D. I. は、「悪い」超に転化した。

製造業は、海外需要の減少や原材料価格上昇による利幅縮小などから、「悪い」超に転化した。非製造業は、自社製品・サービスの販売不振などから、「良い」超幅が縮小した。